

今月食べてほしい～！！ チーズたち

チーズ仕入れ担当の斉藤が、実際の試食をもとに、
「お客様に“今”食べてほしいチーズ」をご紹介します！
試食の感想やしじピ考案、写真撮影まで、責任もって行いました。
ぜひ、安心・安全で美味しいチーズの味をお楽しみください！



香林農園（帯広市拓成町）

ピパイロ

価格：1,390 円
乳の種類：牛
タイプ：セミハードタイプ
食べやすさ：★★★★★



クセはなく、乳のやさしい風味とあっさりとしたコクが特徴のチーズです。チーズワックスがかかっていますので、室温に戻した後、ワックスをむいてお召し上がり下さい。熱を加えると、とろりと溶けて風味が増しますので、加熱料理などでお召し上がりいただくのがオススメです。



■チーズワックスのむき方

包丁やナイフで四等分くらいに切り、使う分だけを常温に戻して下さい。断面にチーズワックスの薄い層が見えますので、ナイフを入れながらゆっくり剥がしていくと、簡単にむくことができます。

■パンにのせて

スライスしたハード系のパンにピパイロをのせて、そのままオーブントースターで加熱します。上にミントの葉を添えると、見た目にも美しいです。今回は、レーズン入りのパンを使用しました。メープルシロップをかけて、デザートのようにお召し上がりいただくのもオススメです。



■温野菜にかけて

茹でたカリフラワーやスナップエンドウなどの温野菜に、溶かしたピパイロをかけました。野菜の甘みとチーズのコクがあいまって、とても美味しいです。フライパンの上に小皿の形にしたアルミホイルを置いて、その上で溶かすと、野菜にかけやすくなります。

No.4148 15-123 9/4

共働学舎新得農場（上川郡新得町）

ヤチヤナギ 熟成

夏季限定販売（7月～9月下旬）

価格：864 円
乳の種類：牛
タイプ：ソフトタイプ
食べやすさ：★★★★★



酵母熟成タイプの「プチ・プレジール」（こちら販売中）をもとに、ヤチヤナギという希少価値のあるハーブを使用して作られた、夏季限定のチーズです。

一番の特徴は、ヤチヤナギ特有の“スーっ”とする清涼感です。クセはなく、やさしい甘みと、なめらかな食感。そのあとに残る爽やかな香りを、ぜひお楽しみください。

※表面に見える緑色の粒がヤチヤナギ（ハーブ）です。青カビに見た目が似ていますが、青カビではありません。



■クラッカーにのせて

ヤチヤナギは、繊細な味わいと風味を持っています。クラッカーなどにのせて、そのままの味をお楽しみ頂くのがオススメです。



■サラダにトッピングとして

ヤチヤナギを刻んで、サラダにトッピングしても、美味しくお召し上がりいただけます。塩、黒こしょう、オリーブオイル、レモン汁などの、野菜とチーズの味を生かす、シンプルな味付けがオススメです。



■ヤチヤナギ（ハーブ）

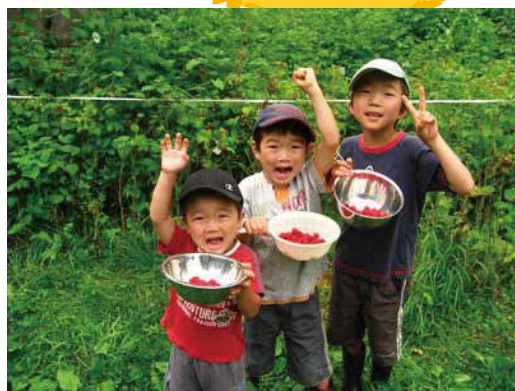
ヤチヤナギは、別名「スイートゲイル」と呼ばれるヤマモモ科の落葉小低木です。ヤチヤナギの実にはホップに似ていて、北欧ではヤチヤナギの実をビールの仕込みに使用するそうです。現在は、北海道のごく一部に自生しています。



★山田農場 チーズ工房のブログより

ヤギ山通信 その1-1-1

山田農場の平和と希望宣言 2015-07-27



平和について、そして戦争について、日々考え、話し合う時間が多く必要とされる時になってきました。これまでも、山田農場なりの様々な発信をしてきたつもりですが、今もう一度、自分たちの暮らしを振り返り、自分へのメッセージ、皆さんへのメッセージをきちんと意思表示することで、新しい一歩を踏み出そうと思っています。

人それぞれに想いはあり、戦争についても平和についても、想いに大きいも小さいもなく、それを大事にすくいあげ、一つ一つを繋げることに何か大事な意味があるんじゃないかと。

私たちなりの「平和」について考えたことを形にしてみようと思います。想いを口にするだけで繋がる言葉があります。私たちの言葉です。

少し長いけど、読んでいただけたら嬉しいです。



「山田農場の平和と希望宣言」

私たちは戦争に反対します。
安倍内閣の、戦争につながるような安保法案にも反対します。
私たちは農民です。
農民は大地から人を生かす食べ物を作ります。
でも、戦争は人や大地や地球のものすべてを壊します。だから絶対反対です。

私たちは自給自足を目指しつつ、そこそ自分給+ときどき他給=けっこう自給という暮らしをしています。そうすると見えてくるものがあります。自給自足の本質は経済至上主義的なシステムからの「独立」だということです。



自分で作るもので賄う、又は仲間と物々交換したり、助け合うことで暮らしを支え合う。足りないものを他から持ってくる事をするだけせず、その土地の条件で得られることで足りるとする。家族や仲間が居ることで満足し、そこにあるもので足りたとき、その暮らしは少しずつ「独立」していくのだと思います。

私たちはお金を出して欲しいものを買うということが、どういうことかをいつも考えます。

自分の利益だけを考えたとき、自分の幸せだけを考えたとき、知らず知らずのうちに戦争へと繋がってしまっているのではないかと・・・



その連鎖を一つでも多く気付き、止めていけば、自ずと平和に向かっていくのではないかなと思うからです。だから自給自足は自己満足でも、自分たちの幸せだけを考えたものでもなく、「他から持ってこない」、「お金だけで解決しない」ことを、より深く見つめた暮らしだと思うのです。そういう暮らしを一つ一つ、一人一人の手に取り戻していくことで大切なものが見えてくる気がします。家族と子どもたちは、いつも近くにいる、食べるものや暮らしに必要なものを作っていく。多くを求める必要もなく、あるものを大事にし、「大切に暮らす」ということを学んでいきます。



食べ物は体を作り、心を作ります。それは曲がったキュウリでも、虫食いのキャベツでも、形の悪いジャガイモでもいいのです。みんなで力を出し合い、楽しく美味しく食べ、どうやったら春夏秋冬の糧を得られる

かを相談し合うことで、どんどん賢くなっていきます。その積み重ねが子どもたちの生きていく力になり、それが「希望」になっていくと思うのです。

未来を生きる子どもたちへの「希望」を、そして全ての生きる人や動物たちへの「平和」を、いつも考え続け、祈り、大切に暮らすこと、そして自分の責任として、きちんと意思表示することが、今もこれからも「戦争をしない世界」につながる一歩だと信じています。



（2015年 7月 山田農場一同）

ヤギ山通信 その1-1-2

ピースウォーク in 大沼 2015-08-11

先日、第1回目のピースウォークをしました。1日目は函館で。2日目は大沼で。たまたま遊びに来ていた友人家族と子どもたちで歩きました。小さな小さなデモ。思うことを紙に書いて、静かに想いを持って歩きました。今は会って話して繋がるのが一番大事な気がするの。正直に。自分の言葉で。自分の思想で。戦争はいやじゃあ～！平和がいい～！（うちの羊毛フェルトを使って作りました）

ある体内記憶の研究者の話。子どもたちに、体内記憶を聞くと



まず100%の子が、「自分でお母さんを選んで生まれてきた」って言うんだって。（ポイントはお父さんじゃなくお母さん！嬉し！）だから母は無条件に子を守りたいと思うのかなあ。

じゃあ、何のために生まれてきたの？って聞くと、これもまた100%の子が、「人の役に立ちたいから」って言うんだって。（この「人」って、ほとんどがお母さんなんだって！）

人の役に立ちたいから、お母さんの役に立ちたいからって生まれてきた子たちが、戦争する世界を望むだろうか。小1の息子だって「戦争はいけないよね」って言います。「だって物や命を奪うから」「みんなが悲しむから」だから大人も言わないと。正直に生きよう。



ピースウォークは月一くらいで続けたいと思っています。飛び入り大歓迎です！

★山田農場 チーズ工房のブログより